

明海大学不動産学部

# 不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第411回

## 【学生の目】

東京都千代田区は23区の中でも最も小さく、6万7145人の居住者数は90万人を越す世田谷区の14分の1程度である。一方、区内には皇居や国会議事堂、省庁、

最高裁判所など国の機関が集積する。日本の

首都機能を担うことから、都市空間は多様性に富み、街を散策すると新しい発見がある。

神田錦町を散策中に面白いデザイン



藤原 龍男

不動産学部3年

## 小さな模様の大きな表現力

# 和テイストと気品を表現

第1の特徴である金色の外観は、京都市北区金閣寺町にある鹿苑寺（金閣寺）を連想させる。金閣は室町時代の北山文化を代表する建物として有名な3層の楼閣建築である。わびさびを基調とする日本では異色の建物だが、国を代表する建物として内外から観光客が訪れる。

今回見つけた建物は、千代田区の金閣”と言ってもよい美しさだけでなく、どこか”和のテイスト”を

感じる不思議なインパクトがある。それは第2の特徴である、モノグラムデザインとも関係している。モノグラムデザインは文字やマークを敷き詰めて模様のように見せる手法である。フランスの高級ブランドLOUIS VUITTONもこの手法を多用する。モノグラムデザインは単純なパターンの繰り返しながら、落ち着きや広がりや、気品を感

ずる点に特徴があり、この建物の外観にもその特徴がよく表れている。

和とは無縁に思えるモノグラムデザインだが、建物をよく見ると年期的に入った松の盆栽が置かれている。その枝ぶりや壁面に開けた穴の形に共通性がある。更に、穴は木の葉にも竹の葉のようにも見え、壁面いっぱいには大きさの異なる葉が群生しながらつながっている。金色の金属壁ながら、植物が生い茂った自然や宇宙を表現しているようだ。硬い金属が柔らかく見え、金閣に通じる和のテイストも感じる。

第3の特徴は、外壁がダブルスキーンになっていることだ。夜はどのように見えるか気になり再訪すると、大きさの違う穴から出る光は木漏れ日のように、柔らかい変化が印象的な夜景であった。小さな建物ながら、人々に刺激を与える工夫に富

明海大学不動産学部に入學して3年目になり、建物を見る楽しさや観点が養われた。街にある建物には個々にデザインの違いや個性があり、「みんな違ってみんな

容積率の高度商業地にある低層建物には砂漠のオアシスに似た安らぎと新鮮さがある。実現には卓越した不動産事業の構築力が必要なことに加え、小建築ゆえに大きな存在感が不可欠となる。シンブルさに饒舌さを宿らせる手法が見事である。

## 【教員のコメント】

容積率の高度商業地にある低層建物には砂漠のオアシスに似た安らぎと新鮮さがある。実現には卓越した不動産事業の構築力が必要なことに加え、小建築ゆえに大きな存在感が不可欠となる。シンブルさに饒舌さを宿らせる手法が見事である。



モノグラムデザインが目を引く外観